

◆住民非課税世帯に対する臨時特別給付金について

令和5年11月2日に政府閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済政策」において、低所得世帯(住民税非課税世帯)支援として、1世帯当たり7万円が追加支給されます。

- (1)支給対象者 令和5年度分の住民税が非課税である世帯
- (2)支給額 1世帯当たり7万円追加
- (3)申請期限 令和6年2月29日(木)

(基準日は令和5年12月1日。対象世帯数は1,700世帯。予算額は119,000千円(国庫負担10/10))

特別委員会報告

◆新中学校建設特別委員会

新中学校の制服や体操服の選定については、納入業者を選定するための募集要項を確認しました。

また、勝山市立中学校建設基本設計について、設計業務を受注した業者から直接意見を聞き、議論しまし

た。委員からは、さまざまな意見が出されましたが、特に、校舎周りの除雪や屋根雪の処理などの雪対策について多くの意見がありました。

12月13日の特別委員会では、勝山高校の建設予定地を現地視察するとともに、中高一貫教育校に対する見識を深めるため、福井県立高志高等学校校長の山内悟先生をお招きし、「ご意見を伺い、委員からの多くの質問に答えていただきました。」

また、令和6年1月10日には、中高一貫教育校の校長のご経験もある、愛知工業大学の中嶋哲彦教授をお招きし、「ご意見を伺うことを確認しました。」

今後勝山市の将来を担う子どもたち一人ひとりがいきいきと活動できる安全安心な学校が建設できるよう、議論を重ねていきます。



講演会の様子

◆決算特別委員会

認定第1号 「令和4年度勝山市歳入歳出決算の認定について」を認定、認定第2号 「令和4年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」を可決並びに認定としました。

◆認定第1号 「令和4年度勝山市歳入歳出決算の認定について」

予算案の審査や討論で指摘した問題点と課題が改善されずに執行されているとして、道の駅隣接の「産業団地」は事前着工すべきでない指摘したにもかかわらず進出計画が進まない問題、ゆめおーれ等の指定管理制度について、コロナ禍での対応などを考慮して指定管理の適用の是非を含めて検討すべきであるのに実施していないこと等が指摘されました。

また下水道事業特別会計では、雨水事業など一般会計事業で負担するとしているが、この原則にもとづく会計処理が行われていないこと等が指摘されました。

◆認定第2号 「令和4年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」

リゾート事業に関する開発者負担金と、統合された簡易水道事業での一般会計からの繰入金のあり方について、必要な対策が実施されていないこと等が指摘されました。

◆その他、審査経過において出された主な意見

令和4年度は、市制始まって以来の未曾有の大規模な大雨災害にみまわれ、決算の状況にも大きな影響を与えています。また、新型コロナウイルス感染症対策がひと区切りし、アフターコロナを見据えた積極的な事業の執行に努められたことは、決算の状況からも伺えます。

今後の予算編成や執行においては、審査の過程において、その都度、指摘した事項も含め、誠意を持って対応されるとともに、健全な財政運営を堅持しつつ、市民福祉の向上と活力あるまちづくりに向けて邁進されることを望みます。